

鹿児島県感染症情報

2022年 第41週報 (10月10日～10月16日)

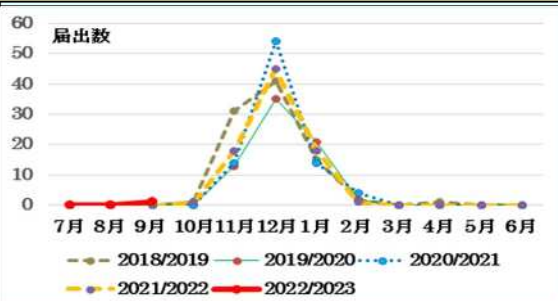
発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、10月16日時点の届出総数が**304491**例です。

〇県内は現在、警戒基準レベルが1～3段階のうち、レベル2、病床確保フェーズが1～6段階のうち、一般3の段階となっています。2021/2022シーズンは年末から年始にかけて一気に増加しましたので、対策は万全をお願いします。

2022年本県におけるつつが虫病の届出数は第41週時点で20例となっています。例年、11月から1月にかけて多くの届出がみられますので、今後の動向には注意が必要です（下図の本県における直近5シーズンのつつが虫病月別の推移グラフを参照、2022/2023シーズンは第41週時点での集計値です）。



鹿児島県を含む南九州は、つつが虫の患者が全国でも多い地域です。本県のつつが虫の届出数は2011（平成23）年以降全国第1位が続いています。つつが虫は、草むらや草木のよく繁った場所でつつが虫病リケッチアを保有するツツガムシ（ダニの一種で大きさは約0.3から0.5mm）に刺されて起こる病気です。農作業や森林作業での感染が主ですが、狩猟はもとより山菜採り（レジャー）や散歩などでも感染する事があると考えられます。

ツツガムシの刺咬を防ぐことが重要ですので、野山や畑、河川敷などにでかける時には、次のことに注意してください。①山林や畑に立ち入る場合は素肌の露出を避けるため、長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用してください。②上着を脱いで草むらに置いたり、腰をおろしたり、寝ころんだりしないようにしましょう。③肌の出る部分には、人用防虫スプレーを噴霧してください。④作業終了帰宅後は、なるべく早めに風呂に入り、身体をよく洗い、皮膚に刺し口（トゲを刺した感じの箇所）がないか点検した上で、必ず着替えをするようにしてください。⑤1～2週間後に、発熱や発疹、リンパ節腫脹などの症状が現れた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。この場合、山林、草地、川原に立ち入ったことを医師に伝えることが重要です。

第41週の定点報告疾患の報告数をみると、手足口病の流行発生警報域は4週連続で鹿屋保健所のみです。インフルエンザは前週に引き続き今週も2人の報告がありました。RSウイルス感染症は例年この時期に報告の多い疾患ですが、今年は低値で推移しています。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核2例（肺結核1例，粟粒結核1例） 追加結核2例（第38週及び第39週）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	レプトスピラ症2例
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例，百日咳1例 追加梅毒2例（第40週2例）
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症2169例 （うち、みなし陽性者6例及びコロナ・フォローアップセンターでの確定者117例を含む）

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点**90**，小児科定点**53**です。（インフルエンザ定点2減，小児科定点1減）
- ・第41週の定点把握対象疾患の総報告数は246人で、前週より34人少ない報告数でした（4頁参照）。

・**流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所

【手足口病（開始5.0，終息2.0）】：鹿屋(2.40)

・**流行発生注意報**の基準値以上の保健所 該当なし

☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第41週の感染性胃腸炎の報告数は100人で、前週より12人少なく、定点当たりの報告数は1.89であった。

年齢別では、1歳（15人）、2歳（13人）、6歳（11人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所（5.00）、鹿児島市保健所（3.85）、鹿屋保健所（2.80）の順に多い。

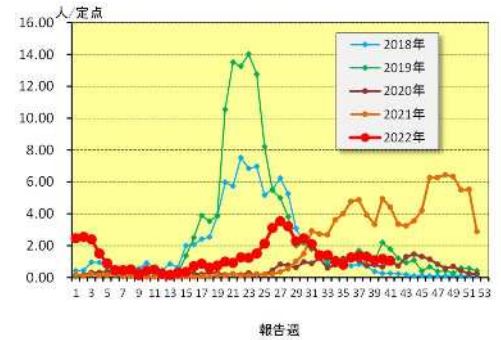


(2) 手足口病

第41週の手足口病の報告数は56人で、前週より6人少なく、定点当たりの報告数は1.06であった。

年齢別では、1歳（21人）、2歳（14人）、6～11ヶ月（10人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（2.40）、鹿児島市保健所（1.92）、志布志保健所（1.50）の順に多い。



(3) RSウイルス感染症

第41週のRSウイルス感染症の報告数は37人で、前週より9人少なく、定点当たりの報告数は0.70であった。

年齢別では、1歳（11人）、6～11ヶ月、12歳（それぞれ7人）、3歳（6人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、志布志保健所（2.00）、鹿児島市保健所（1.77）、加世田保健所（1.67）の順に多い。



【新型コロナウイルス感染症関連情報】

秋の感染防止対策のお願い

鹿児島県

- 小児接種も努力義務に
- 感染予防効果に期待
- 大声での会話は控えて
- ワクチン接種の積極的な検討を
- 外出時は密を避け混雑した場所や時間を避けて
- 油断禁物!! 基本的な感染防止対策の再徹底を
- 体調管理の徹底を
- 医療機関の適正受診に協力を
- 無料のPCR等検査場の活用を

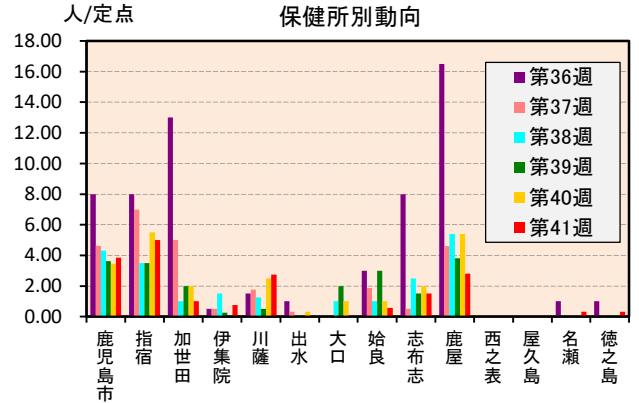
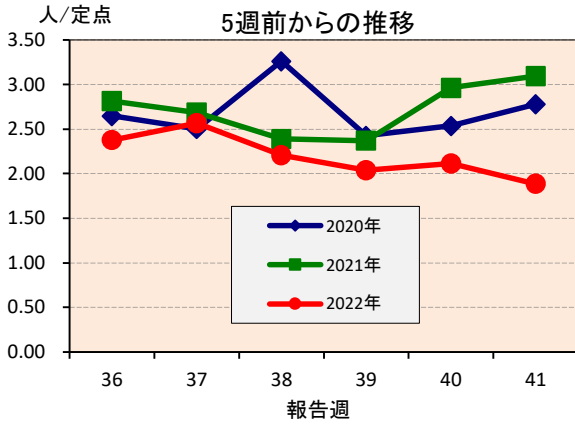
QRコード: <https://www.kagoshima-pca.jp/>

コロナ・フォローアップセンター鹿児島
TEL050-3310-9706

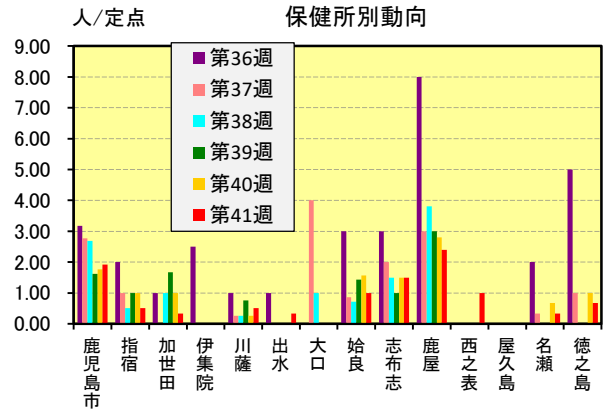
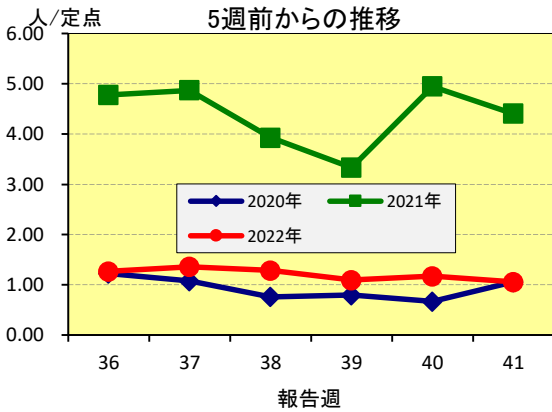
コロナ・フォローアップセンター鹿児島の詳細な業務案内をこのQRコードをスキャンすることで見るすることができます。

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

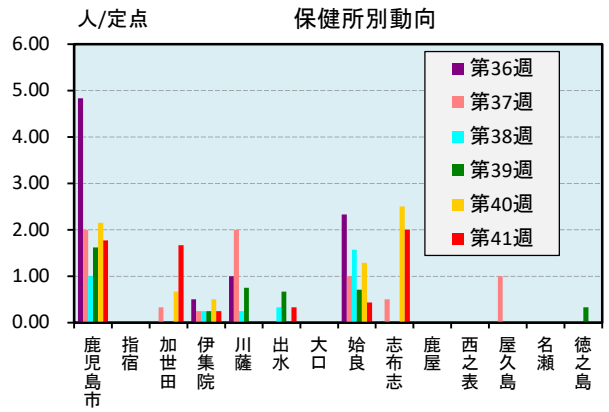
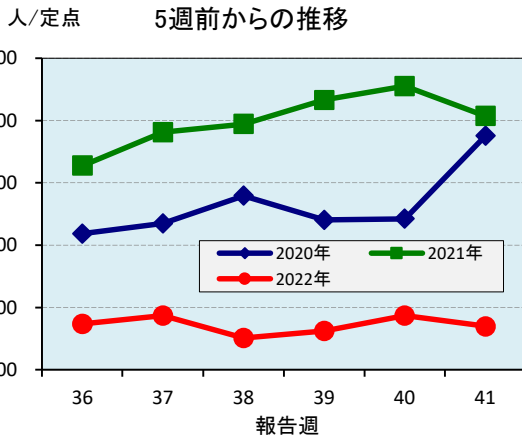
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

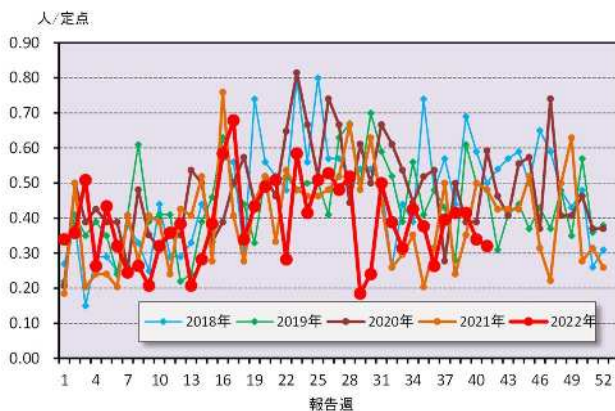


(3) RSウイルス感染症

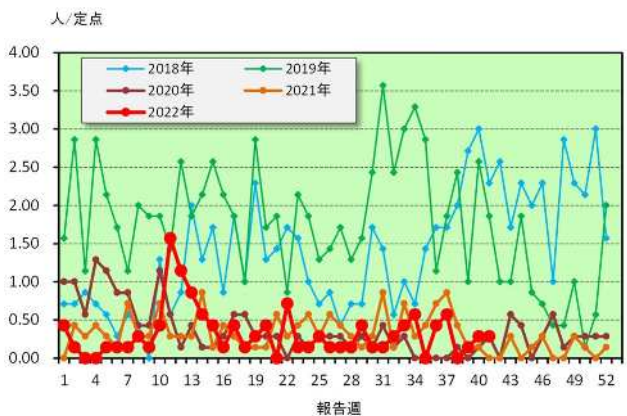


☆注目される感染症の発生状況

★ 突発性発しん（鹿児島県）



★ 流行性角結膜炎（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第41週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	2	0.02	30
小児科定点	咽頭結膜熱	5	0.09	1,011
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.11	636
	感染性胃腸炎	100	1.89	12,248
	○水痘	4	0.08	154
	手足口病	56	1.06	2,826
	伝染性紅斑	-	-	24
	突発性発しん	17	0.32	841
	ヘルパンギーナ	15	0.28	462
	○流行性耳下腺炎	2	0.04	88
眼科定点	RSウイルス感染症	37	0.70	1,097
	急性出血性結膜炎	-	-	-
基幹定点	流行性角結膜炎	2	0.29	93
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	2
	無菌性髄膜炎	-	-	8
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	4
報告数合計		246	0	19,524

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2022年36週)	4週前 (2022年37週)	3週前 (2022年38週)	2週前 (2022年39週)	1週前 (2022年40週)	今週 (2022年41週)
インフルエンザ	報告数	-	1	-	-	2	2
	定点当り	-	0.01	-	-	0.02	0.02
RSウイルス感染症	報告数	39	46	27	33	46	37
	定点当り	0.74	0.87	0.51	0.62	0.87	0.70
咽頭結膜熱	報告数	4	4	4	10	8	5
	定点当り	0.08	0.08	0.08	0.19	0.15	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7	13	12	6	9	6
	定点当り	0.13	0.25	0.23	0.11	0.17	0.11
感染性胃腸炎	報告数	126	136	117	108	112	100
	定点当り	2.38	2.57	2.21	2.04	2.11	1.89
水痘	報告数	2	2	-	3	2	4
	定点当り	0.04	0.04	-	0.06	0.04	0.08
手足口病	報告数	67	72	68	58	62	56
	定点当り	1.26	1.36	1.28	1.09	1.17	1.06
伝染性紅斑	報告数	4	-	-	-	-	-
	定点当り	0.08	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告数	14	21	22	22	18	17
	定点当り	0.26	0.40	0.42	0.42	0.34	0.32
ヘルパンギーナ	報告数	28	19	22	33	19	15
	定点当り	0.53	0.36	0.42	0.62	0.36	0.28
流行性耳下腺炎	報告数	-	2	2	4	-	2
	定点当り	-	0.04	0.04	0.08	-	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	3	4	-	1	2	2
	定点当り	0.43	0.57	-	0.14	0.29	0.29
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年41週(10月10日～10月16日)

総数	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿兒島市	2	0.02	37	0.70	5	0.09	6	0.11	100	1.89	4	0.08	56	1.06	0	0.00	17	0.32
指宿	-	-	23	1.77	3	0.23	3	0.23	50	3.85	1	0.08	25	1.92	-	-	8	0.62
加世田	-	-	5	1.67	-	-	-	-	10	5.00	1	0.50	1	0.50	-	-	-	-
伊集院	-	-	1	0.25	-	-	-	-	3	1.00	-	-	1	0.33	-	-	-	-
川薩	1	0.14	-	-	-	-	-	-	3	0.75	-	-	2	0.50	-	-	1	0.25
出水	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	1	0.09	3	0.43	1	0.14	-	-	4	0.57	1	0.14	7	1.00	-	-	1	0.14
志布志	-	-	4	2.00	-	-	-	-	3	1.50	-	-	3	1.50	-	-	1	0.50
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2.80	-	-	12	2.40	-	-	6	1.20
西之表	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	2	0.67	-	-	-	-

総数	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム類は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿兒島市	15	0.28	2	0.04	0	0.00	2	0.29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
指宿	9	0.69	2	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	2	0.29	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	2	0.40	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

